

平成三十年度 第二回研修会報告
【魅力ある職場環境づくり研修会】
 (リーダー的職員に求められる
 スキル・能力とは?)



当研修会では、社会保険労務士事務所こどもそら舎代表関山浩司先生をお迎えし、保育士・保育教諭にとって魅力ある職場について学びました。

本研修会はアクティブラーニング形式のグループワークを中心に行われました。各グループ、時間が経過するにつれてどんどんヒートアップしてきて、参加の先生たちのお話で研修会は大盛り上がり。前半部分では、「保育士として働く理由・辞める理由」、「これって常識?非常識?」等々。日頃他の園の情報聞く機会は少ないですが、「あるある!」「えっ?それはひどい」等、納得する部分や気づかされるものがたくさんありました。後半部分では、新任職員、人の何をどうやって育てればいいのか?職員一人ひとりが成長するための組織作りをテーマとして、新任保育士の組織的な定着・育成体制について、また、それらの効果についてお話をいただきました。印象的な言葉は「自己肯定感」、保育の世界ではよく使われること言葉ですが、職員の人材育成にもこれが大事ということです。職員自らが自己肯定感を感じられるような関わりをしていきたいですね。

ここからは、研修会の内容を少しだけご紹介いたします。

【Pick UP ①】

「新任保育士の組織的な定着・育成体制(例)」

- ・「プリセプター・シスター制度」
- ・マンツーマンに近い形で、ある一定の期間、一定の内容の指導をする。
- ・「メンター制度」

直接の先輩とは別に公私における身近な相談役(応援者)となる。

- ・「キャリアアコンサルティング制度」
- ・「チューター制度」

専門家が定期的な個別面談を通して園内と連携して気付きや学びを促す。

職場のアドバイザーとして、職場に適応し信頼関係が育つようフォローする。



全国で活躍中の社労士関山先生、人形を使って熱弁する姿に、会場が温かい雰囲気となりました。

【Pick UP ②】

「保育現場でのストロークとディスカウント」

保育現場で小さな成長を見逃さないストローク(心の栄養)

- 【口..声掛け】ありがとう、いいね
- 【目..まなざし】笑顔、アイコンタクト
- 【手..手当て】かたポン、握手、手を振る
- 【胸..気配り】丁寧で静かなドア閉め

保育現場で小さな成長を妨げる

ディスカウント

- 【口..口出し】ちよつとな、チツ、また?
- 【目..まなざし】どうせ、ギロツ、ああ?
- 【手..手出し】かして、バタンツ、も?
- 【胸..無関心】なにか?、は?、今?
- ストローク(心の栄養)が不足すると、無口、むき力、批判的、無表情、不機嫌、攻撃的となってしまう。

【Pick UP ③】

「奈良のシカ」(もしも現場で迷ったら)

- ① ●●先生なら

①後輩を承認して、期待して待つ

②そんな先輩を、承認して褒める

- ③ ●●先生しか

①魅力に気付き出す

②魅力を教えてもらう

「カラスの巢」(もしも現場で迷ったら)

- ④ ●●先生なら

①(黒く見えても) 真っ黒いから

②(汚く感じて) 磨けば光るから

③(騒々しくても) 一生懸命だから

「たぐさんのエッセイ」

- ①素敵だね
- ②すぐできるよ!
- ③すごいね
- ④素晴らしいよ
- ⑤好きだよ
- ⑥好きになるよ



研修会での一コマ。約3時間の長丁場でしたが、皆さん、熱心に研修に取り組まれました。

●受講者の「参加者の感想」

・どの園も同じような悩みを抱えているんだなと思わず少しほっとしました。
 ・グループで他の園の先生方の話を聞くことができて良かったです。
 ・自分自身、新任職員の育成について、もう一度考えてみようと思うきっかけになりました。

・魅力ある職場環境について、多くのことを学ばせて頂いた。保育質の向上と合わせて、人が辞めない、人が来る、魅力ある職場づくりに取り組んでいきたい。

【鹿児島県子ども子育て青年会】

研修委員会 帯田・上之